

日语 写作

胡传乃 编著

(第三版)

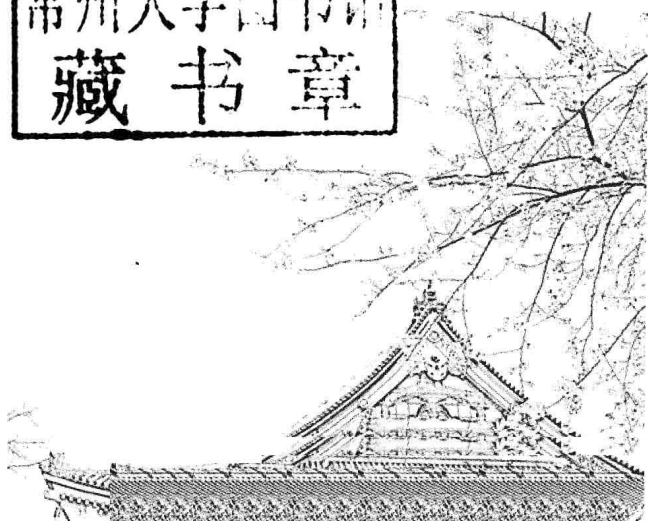


北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

日语写作

(第三版)

胡传乃 编著



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语写作/胡传乃编著.—3版.—北京:北京大学出版社,2011.3
(21世纪日语系列教材)

ISBN 978-7-301-18495-0

I. 日… II. 胡… III. 日语—写作—教材 IV. H365

中国版本图书馆CIP数据核字(2011)第011465号

书 名: 日语写作(第三版)

著作责任者: 胡传乃 编著

责任编辑: 兰 婷

标准书号: ISBN 978-7-301-18495-0/H·2746

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路205号 100871

网 址: <http://www.pup.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62759634

出版部 62754962

电子邮箱: zpup@pup.pku.edu.cn

印 刷 者: 北京大学印刷厂

经 销 者: 新华书店

850毫米×1168毫米 A5 10印张 310千字

1996年11月第1版 2007年1月第2版

2011年3月第3版 2011年3月第1次印刷(总第27次印刷)

定 价: 25.00元

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究 **举报电话:** 010-62752024

电子邮箱: fd@pup.pku.edu.cn

第三版前言

《日语写作》自 2006 年第一次修订以来，转瞬间已过去了 4 年。随着时间的推移和教学实践的需要，编者觉得有进一步对本教材进行修订的必要。

本次修订的主要内容如下：一、对基础篇的标点符号和“敬简体”部分，改动了部分表述词语，增加了例句和练习题。二、表达篇的部分章节的“例文”内容是有时间性的，日文的原始资料已改换成新的统计年份、数据、术语等，所以本次修订也对这方面的变动做了相应的修正，但只是局部的，“例文”的主体没有改变。另外，有些课的练习题也做了少量的改换，以适应中国学生的现状。三、对实践篇各课的“关联词语”进行了增删，但增多删少。增加和改换了“使用句型”的部分例句。根据中国是使用汉字的国家这一实情，将全篇出现的单词，凡能用“常用汉字”表达的，全部将假名改为汉字，以提高学生对日语汉字的识别和书写的能力。极个别的非“常用汉字”表达的单词，由于常见，也由假名改为汉字。

本次修订自始至终都是按照《辽宁省自学考试大纲》进行的。

由于编者的水平有限，本书的错误之处在所难免，望广大读者多加指正。

胡传乃

2010 年 8 月

修订版前言

《日语写作》自1996年11月出版以来，已过去了10年。在这10年中，本书被部分高校和自学考试日语专业用作日语写作教材，作为本书的编者，我首先向使用本书的教学单位和日语学习者表示谢意。

在过去的10年中，我国的日语教育事业有了很大发展，为了适应发展形势的需要，编者和出版社方面都认为有修订的必要。但为了与自学考试大纲保持一致，此次修订基本上是只增不减。基础篇和表达篇除了对极少部分进行了修改外，基本上保持了一版的原貌；实践篇则增加了10余篇命题作文和应用文，以此使自考生能在考前有更多的练习命题作文的机会。

“听、说、读、写、译”，几乎是所有外语院校对学生提出的五项基本要求。这本《日语写作》教材就是为提高学生“写”的水平而编写的，可供大学日语专业本科生和自考生以及自学者作为学习日语写作的教材。

本教材分三大部分。第一部分为基础篇，介绍日语写作的基础知识。第二部分为表达篇，讲述各种类型句子的表达方法。本篇共十五课，每课由“常用表达形式”、“例文”、“练习”三部分组成。第三部分为实践篇，本篇分两章，第一章为命题作文，由44篇文章构成，第二章为由日记和书信构成的应用文。每篇命题作文和应用文由“关联词语”、“使用句型”、“文章中要回答的问题”、“作文例”和按每课的题目写一篇命题作文等五个部分组成。全书的最后附有补充作文题五十个，供教师布置课外作业和学生自己进行作文练习时选用。

在本书的编写过程中，我们主要参考了以下著作：

《日本語作文》（C&P 日本語教育・教材研究会编，专门教育出版社出版）

《日本語作文の方法》（佐藤政光等编，第三书房出版）

在此，我们对上述作者谨表谢意。

由于我们的水平有限，错误和不当之处在所难免，望广大读者不吝指正。

编者 2006 年 11 月于大连

目 录

基础篇

一、书写格式	3
二、标点符号的用法	6
三、「だ・である体」与「です・ます体」 的用法	16
四、文章的结构	20

表达篇

一、形状、状态、场所	27
二、事物的前后关系	31
三、事物的构成、顺序、方法（1）	36
四、事物的因果关系（1）	42
五、行为的理由、目的（1）	47
六、共同点、相似点、不同点（1）	54
七、传闻、引用	58
八、陈述意见	64
九、事物的变化、推移、过程	71

十、事物的构成、顺序、方法(2)	76
十一、事物的因果关系(2)	81
十二、行为的理由、目的(2)	87
十三、共同点、相似点、不同点(2)	94
十四、由具体的事实抓住全体的特征	98
十五、赞成意见、反对意见	103

实践篇

第一章 命题作文	113
一、自我介绍	115
二、我的国家	119
三、我的公寓	123
四、清晨散步	126
五、从家到学校	129
六、在电车里	132
七、我的朋友	135
八、我的工作	139
九、我的一周	143
十、生日	146
十一、为什么学日语	150
十二、日语课	154
十三、实践课	157
十四、我生活的城市	160
十五、我的一家	163
十六、我的一天	168

十七、爱好	173
十八、宠物	176
十九、郊游	179
二十、公园	182
二十一、姐姐和音乐	185
二十二、婚礼	189
二十三、银婚式	192
二十四、母亲节	196
二十五、我的故乡	200
二十六、我的理想	204
二十七、看电影	209
二十八、高中生活	213
二十九、会朋友	216
三十、我的暑假	219
三十一、买东西	223
三十二、体育运动	227
三十三、我国的季节	230
三十四、疾病	233
三十五、我国的教育	236
三十六、传统节日	239
三十七、腊月	242
三十八、新年	245
三十九、公共浴池	248
四十、东京的生活	251
四十一、在日本的饮食生活	255
四十二、在日本旅行	258

四十三、将来的计划	261
四十四、毕业	266
 第二章 应用文	270
一、日记	270
一个留学生的日记	271
二、书信	276
1. 报告近况的信	279
2. 给朋友的信	283
3. 给老师的信	287
4. 感谢信	292
5. 邀请函	296
6. 慰问信	300
7. 贺年卡	304
 附 录	307



【基础篇】

一、书写格式

日语文章通常分竖写和横写两种格式，下面分别以实例介绍这两种格式的书写方法。

1. 竖写（参考第4页图）

① 标题写在第一行，前面空三个或四个格。较长的文章，也有标题的右侧空一行的写法。

② 作者名写在标题的下一行，姓与名之间空一格。名字写在一行的下方，通常最后一字的后边空一格。

③ 正文写在作者名的下一行，或者空一行。

④ 段落的开头要空一格。

⑤ 小写的“つ、や、ゆ、よ”等占一格，写在格内的右上方。

⑥ 逗号或句号占一格，写在格内的右上方。

⑦ 句子的最后一字写到一行的最后一格时，句号点在格外。逗号遇此情形时亦然。

⑧ 引号、括号的前半部分和后半部分各占一格，但其前半部分不能点在一行的最后一格，其后半部分不能点在一行的行首。

⑨ 加写一个字时用“〈”号表示，加写两个字以上时，用“{”号表示。

⑩ 振假名和加写部分写在行与行之间。

⑪ 写好的字抹掉时，划两条平行线，只抹掉一个字时划两条斜线。

⑫ 括号占一格。

⑬ “々”为两个汉字重复时的符号。

- ⑭ 数字使用中国数字。
⑮ 片假名的长音符“一”占一格。

2. 横写（参考第5页图）

与竖写时格式相同的地方这里就不叙述了。

- ① 句号和逗号占一格，写在格内的左下方。横写时逗号多用“，”号，但也有人用“、”号。
② 小写的“つ、や、ゆ、よ”等占一格，写在格内的左下方。
③ 横写时数字用阿拉伯数字，一个格写两个数字。

3. 数字的书写

横写

1307人
1987年
55.000円
5万5千円

竖写

一四一平五
三九五成万
〇五八十六
七百人年千
人年円

私と富士登山
木村 かおる

八月初めに、友人と富士山に登った。私は山が好きだが、三千メートル以上の山に登るのは、この時が初めてだった。

富士山は遠くで見ると美しいが、そこへ行ってみると、ずいぶん下でくなく、開いていた。しかし、私が見たかぎりではきれいだ。た。五合目までバスで行く。そこから歩いて登ったのだが、なかなかつらかった。友人は「もっとゆっくり歩きましょうよ」と言いつつ、私を促していた。

御来光（高い山で見る日の出）は頂上で見た。朝々との色の変わりが、下でく雲が美しい。た。標高三七七メートルの頂上には寒かった。下りは上りと違って、砂の上をすべるように走るので、ずいぶん早く下りられた。

富士に登るのは、二度登る馬鹿（ばか）というそうだが、ぜひまた登りたいと思う。

私と富士登山

木村 かおる

8月初めに、友人と富士山に登った。私は山は好きだが、3000メートル以上の山に登ったのは、この時が初めてだった。

富士山は遠くで見ると美しいが、そこへ行ってみるとゴミだらけでよくないと聞いていた。しかし私が見たかぎりではきれいだった。

5合目までバスで行って、そこから^{夜中じゅう}歩いて登ったのだが、なかなかつらかった。友人は「もっとゆっくり歩きましょうよ」

と言いながら~~歩~~、~~←~~登っていた。

御^ご来^{らい}光^{こう}（高い山で見る日の出）は頂上で見た。刻々と色が変わって~~新~~く雲が美しい。ただ。標高3776メートルの頂上は^{さきがに}寒かった。

下りは上りと違って、砂の上をすべるように走るの、ずいぶん早く下りられた。

「富士に登らぬは^ば馬^う鹿、二度登る^ば馬^う鹿」というそうだが、ぜひまた登^{のぼ}りたいと思う。

二、标点符号的用法

1. 句号——“。”（句点、まる）

标在句末。会话文中的半截话（后半部省略），也标句号。如：

○ 父の仕事の関係でわたしが日本に来てから 5 年目になりました。

○ 看護婦は昔は女の仕事とされていたが、この頃は男の看護士もいるそうだ。

○ A: 田中さん、一杯やりに行こうよ。

B: ええ、喜んで。

○ A: お母さん、お人形の首がとれちゃった。直してよ。

B: はいはい、あとでね。

但要注意的是，会话文中的句子如果在引号内，最后的句号通常不标。如：

○ 「私ですよ。昭子さん、私です」

○ 父は「嫁に行く前に何かやっておくべきことはないか」と聞きました。

但也有标句号的。如：

○ A: 「すみません。鈴木先生にお目にかかりたいんですが。」

B: 「今日は、まだ来ていらっしやいません。でも、10 時ごろには、おいでになるのではないかと思います。」

2. 逗号

日语的逗号有两种不同的写法：竖写时写作“、”（読点、点）；横写时多写作“，”（コンマ），但也有人写作“、”。

逗号使用的频度较高，且用法也较复杂，所以在本节我们做较详细的说明。

A. 在连接两个相关的句子时，标在接续词后。接续词在句中时，接续词的前后都要标逗号。如：

○ そのころ私は日本の歴史に興味を持っていた。それで、本を何冊か読んでみた。

○ 2時間待った。けれども、荒井さんはまだ姿を現さなかった。

○ 天気予報では今日は雨になると言っていた。ところが、少し曇っただけで、結局は降らなかった。

○ 危険な場所だと十分注意されていた。にもかかわらず、軽装で出かけて遭難するはめになった。

○ この靴はとてもじょうぶで、そのうえ、値段も安い。

○ 13日までに到着するように郵送するか、または、持参してください。

○ きんのうの晩熱が出て、それで、今日は学校を休んだ。

〔练习〕

将下列句子标上逗号和句号。

① 約束の時間は午後 3 時半だったが彼女はなかなか来なかった

② 最初にデパートへ行ってそれから映画を見た

③ 私は 1 年前から引っ越ししたいと考えていたそして今日やっと部屋を見つけることができた

④ その仕事はひとりでもできると思ったしかし時間があまりなかったそれで友だちに手伝ってもらうことにした

⑤ まずあなたの子ども時代を思い出してください次にいっ